

審議会等の会議の記録

会議の名称	令和4年度市史編さん委員会委嘱状交付式及び第1回市史編さん委員会
開催日時	令和4年12月12日(月)午後2時30分～4時00分
開催場所	伊勢崎市図書館2階集会室
出席者氏名	(委員) 三好委員長、井野副委員長、相川委員、青木委員、桜井委員、宮崎委員、前澤委員、里見委員、清水委員、三井委員、栗田委員、村岡委員、新井委員、細井委員、渡邊委員 (オブザーバー) 横堀文化財保護課長、出浦文化財保護係長、横澤埋蔵文化財係長 (事務局) 和佐田図書館課長、町田奉仕係長、勢藤市史編さん係長、和久係長代理
傍聴人数	0人(公開)
会議の議題	(1) 委員長及び副委員長の選出について (2) 伊勢崎市史編さん事業について (3) 専門委員会委員長及び専門部会部会長の承認について
会議資料の内容	(1) 伊勢崎市史編さん事業について (2) 専門委員会委員長及び専門部会部会長の承認について
会議における議事の経過及び発言の要旨	<p>【委嘱状交付式】</p> <p>1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 挨拶 4. 閉会</p> <p>【編さん委員会】</p> <p>1 開会 2 委員長及び副委員長の選出について 委員長には三好教育長、副委員長には井野教育部長が指名され、承認された。</p> <p>3. 協議事項 (1) 伊勢崎市史編さん事業について 市史編さんの目的、事業計画、次年度のスケジュールについて説明した。 委員：本の体裁の中で、全ての刊行物が500頁前後になるのか。 事務局：通史編は500ページを基本とするが、資料編などは適宜ページ数を検討していきたい。 委員：①基本方針の中に、景観・災害・共生社会が盛り込まれているのは良いテーマである。災害は現代の集中豪雨などを意識しているのか。 ②事業期間は12～13年とのことだが、刊行予定の本の数からみると事務局の負担が多いのではないか。 ③通史編の近現代編は1冊とのことだが、近代と</p>

現代を分けたものにする予定はないのか。

事務局：①災害については、自然災害の他、疫病、戦争などを含めた広い意味での災害が考えられる。今後起こりうる災害に備えられるような内容にしたい。

② 事業期間については、今後開催される専門委員会で検討し、作業内容に応じた現実的なスケジュールを立てていきたい。

③ 近現代編だけでなく原始古代編などでも、分けた方が良いかどうか検討が必要である。

委員：①市内には外国籍の方も多いため、定住した外国籍の人たちの目線も入れてもらいたい。

②災害については事実を並べるだけでなく、人々の工夫によって災害を免れた史実も記載できるとよい。災害に対する知恵や対策についての提案があると、多くの人が読む本になるのではないか。

事務局：①住民の多様化を伊勢崎市の特色としてとらえ、どのように市史に反映させるか検討したい。

②災害に関する事柄について、委員の皆様にもそれぞれの立場からご意見をいただき良いものにした。

委員：市の周年事業や学校教材で情報提供を求められることもあり、市民の必要に応じて対応していくことも方針に入れてほしい。また市役所職員にも執筆に加わってもらおうと市全体での取組ということが鮮明になるので検討してもらいたい。

事務局：周年事業の刊行物など、何ができるか検討し柔軟な対応をしていきたい。

●市史編さん事業について、詳細な基本計画は今後の専門委員会で協議することになるが、大まかな内容については承認された。

(2) 専門委員会委員長及び専門部会部会長の承認について
専門委員長と専門部会長については、事務局提案のとおり承認された。

4. 閉会